

どこまで上がる？物価高 ～強まる物価上昇圧力の実態～

中東情勢緊迫化の影響が輸入物価と国内企業物価の上昇を通じて消費者物価に波及しつつあります。ひろぎんHD経済産業調査部では物価予測モデルを用いて今後の広島市の消費者物価の推移について試算してみました。

これから本格化する価格転嫁の動き

2026年6月の広島市の消費者物価上昇率（総合）は前年同月比+2.0%と2ヵ月連続で伸び幅が拡大しました（図表1）。

ガソリン補助金や高校授業料無償化等の政策要因により上昇幅はなお抑制されていますが、原材料費や燃料費などコスト負担の増大を受けて企業の価格転嫁の動きはこれから本格化するとみられ、上昇率は一段と高まることが予想されます。

基調的な物価の動きを注視

当部では、7月以降の消費者物価について、電気・ガス料金の価格抑制（7～9月）とガソリン補助金の継続（27年3月まで）を前提に、3通りのケースで試算しました。このうち、原油価格が90ドル/バレル、ドル円が160円/ドルで推移した場合の「ベースシナリオ」では、消費者物価は来年3月には前年同月比+2.7%程度にまで上昇する見通しで、不安定な中東情勢や為替動向を踏まえた「上振れシナリオ」では3%を超えて上昇する可能性があります（図表2）。

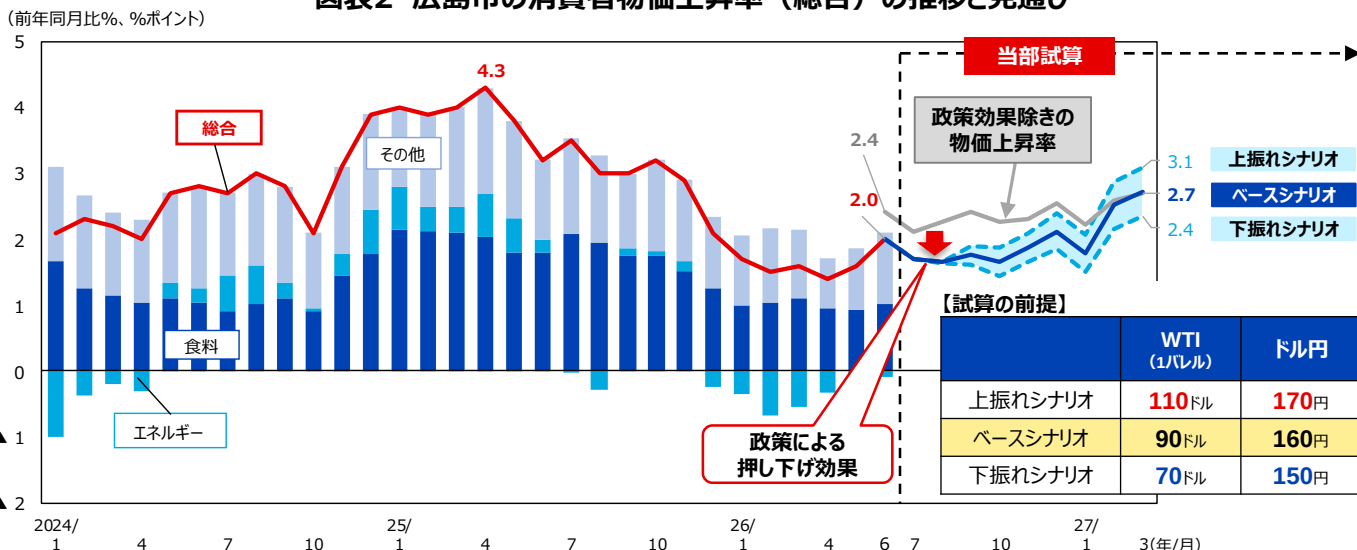
なお、上記政策効果を除いてみると、6月の消費者物価上昇率は2%台半ばに達しています。中東情勢の悪化を受けた物価上昇圧力は既に足下で強まっており、とくに政策除きの基調的な物価の動きを注視していく必要があります。

図表1 消費者物価上昇率の抑制要因
(広島市、2026年6月)

	前年同月比	寄与度
総合指数	+2.0 %	+2.00 %ポイント
うち教育	▲5.2 %	▲0.16 %ポイント
うちエネルギー	▲1.4 %	▲0.10 %ポイント

(注) エネルギー：電気・ガス料金、灯油・ガソリン価格
(資料) 広島県資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表2 広島市の消費者物価上昇率（総合）の推移と見通し



品質向上のため
アンケートにご協力ください。



PCの方は
こちらを
クリック

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家に相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：唐井（Tel.082-247-4958）までお願いします。